



シャローム shalom

No.175
2025.夏号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



花の日の訪問で届けられたアジサイ

花の日と病院デーを迎えて

6月の第二日曜日は花の日と病院デーでした。花の日はプロテスタントのいくつかの教派で持たれている日です。19世紀のアメリカで始まった礼拝で、子どもたちの健やかな成長を神に願い、また感謝をささげる「子どもの日」として守られていました。ちょうど花の美しい季節であったため花を持ち寄って礼拝堂を飾り、礼拝の後に花束をもって施設を訪問するということが行われるようになりました。

一方、病院デーは日本バプテスト連盟において制定された日です。1953年の年次総会で病院設立に関する議案がいくつか出され、その最後に「(病院デーを)花の日に同時にする」という議案が採択されました。病院の働きのために祈り支援するという思いを形にした日であり、

この年の年次総会は病院設立に向けた機運が最高潮に盛り上がったと聞いています。病院デーが制定された年から72年たった今でも日本バプテスト連盟の諸教会・伝道所においてこの日は覚えられています。

当院は今年で開院70年になります。毎年6月を迎える花の日や病院デーを通して当院/当医療団が諸教会・伝道所とつながり、祈りの中に置かれている施設であることが思い起こされ、決意を新たにします。昨今の厳しい社会情勢の中、ご支援をいただいた皆様に感謝するとともに、皆様の期待に応えられるよう、医療団はキリストの隣人愛に基づく全人医療・全人介護を実践する施設として地域の医療と介護を守っていく心積もりで邁進してまいります。

2025年度医療団標語聖句 (ヨシュア記1章9節)

わたしは、強く雄々しくあれと命じたではないか。うろたえてはならない。おののいてはならない。あなたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。

お知らせ ホスピスボランティア募集

日本バプテスト病院では、継続的に活動して下さる20歳以上のボランティアを募集しています。

活動内容

- ティーサービスとお話し相手(曜日固定)、お散歩、見守り、ベッドまわりの整理整頓
- ホスピスの環境整備
- ベランダやロビーの植物の水やりやお花のお世話
- 月に数回あるイベントのサポート
(季節の行事やコンサート、お茶会等の写真撮影や車椅子・ベッドの誘導)
- 季節の飾りつけ(ひな祭り・端午の節句・クリスマス等)



こちらのQRコードから、
ホスピスボランティア・
マンスリー通信を
ぜひご覧ください。

お問い合わせ

TEL 075-702-5988
FAX 075-701-9996
Mail volunteer@jbh.or.jp
担当：総務課 松屋

ご応募

「ホスピスボランティア応募」と明記し、氏名・住所・年齢・電話番号とメールアドレス、簡単な応募の動機や自己PRをお書きの上、メールまたはFAXでお送りください。応募を確認次第、こちらよりご連絡致します。その後、当院までお越しいただき、簡単な面接と書類手続き、研修等が必要です。
(近親者を1年以内に亡くされた方のご応募はご遠慮いただいております)

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課
TEL 075-702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2025.2.1-4.30) 敬称略

ベスタロッチ保育園 猪飼 滋 會田 祐子
和歌山バプテスト教会 辻 玉江 新屋 久幸 匿名3名

編集後記

思わぬ早さで梅雨が明け、夏が到来しました。初夏から梅雨の間、晴れた日のさわやかな朝夕、車椅子に患者さんを乗せたスタッフが、竹林の日陰でそよ風にあたる姿をよく見かけました。患者さんとふたり、山々を仰ぎ、ツバメの鳴く声に耳を傾ける平和な姿は、通りがかる者をも癒しました。山腹に立つ当院ならではの光景かもしれません。そんなぜいたくな時間を患者さんと過ごさせていただける幸いに感謝し、患者さんやご家族を、自然と同じように温かく包める私たちがでありたいと思います。盛夏のみぎり、みなさまどうぞご自愛くださいませ。

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.175 2025年7月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 尼川 龍一 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。
著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <https://www.jbh.or.jp/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <https://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト老人保健施設 <https://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト居宅介護支援事業所 <https://www.jbh.or.jp/kyotaku.html>

総合内科 顧問
すずき あきら
鈴木 聡
2025年4月1日着任



消化器内科 医長
いとう たかひこ
伊藤 卓彦
2025年4月1日着任



私はもともと血液内科医でしたが、がんがおこるメカニズムに興味を持つようになり、がん抑制遺伝子の機能や、トリプルネガティブ乳がんの原因となる遺伝子を見つけました。その後、親の病気や介護と向き合うことが契機となり、再度内科医として患者さんの役に立ちたいと考えるようになりました。今後は患者さんやご家族の心を十分理解するとともに、種々の専門領域に精進する医師になるよう努力いたします。

4月より赴任いたしました、伊藤と申します。これまで神戸市立医療センター中央市民病院、国立がん研究センター中央病院、京都大学医学部附属病院にて消化器内科診療に従事してきました。専門は消化管内視鏡治療および化学療法になります。まだ若輩者ではございますがこれまでの経験を生かしつつ、病院の理念を意識した診療を通して患者さんのお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

Relay Column

バプテスト老健 リレーコラム

vol.21 通所リハビリテーションの「生活いきいき体操」

せきや はやと
介護福祉士 **関谷 隼人**



通所リハビリテーションでは利用者様全員が一斉に取り組む体操として、「生活いきいき体操」を行っています。この体操は、日常生活動作に繋がる運動となるように、介護職員と理学療法士で相談しながら内容を考えています。

その日の利用者様全員を5グループに分け、介護職員が立位で行うバージョン、座位で行うバージョンの見本となつて、



全員で体操に取り組みます。立位では、スクワット、キック、ダッシュ、パンチ体操、糸巻き体操などを行い、全身を使うことでバランス感覚が鍛えられ転倒予防に繋がります。また、認知機能の低下を予防するための体操として脳トレ体操なども取り入れています。やわらかいボールを使ったキャッチボールでは、優しく返される方や力強く返される方など雰囲気明るく盛り上がり「楽しかった」という声を聴きます。

今後も生活いきいき体操を通して、利用者様の在宅生活を支えることができるよう取り組んでいきます。



薬でつなぐ ちょっといい話

vol.48 お子さんへの点眼方法について

さとう かずお
薬剤部 **佐藤 和生**



お子さんに目薬が処方されたけど、点眼するのに困ったことはありませんか？今回、お子さんへの点眼方法についてまとめてみました。

①点眼開始前
点眼前には手を清潔にしてください。子供が泣くと涙で目薬が流れるので落ち着かせましょう。

②点眼の姿勢
ひざ枕で足の間に子供の頭を乗せ、仰向きに寝かせましょう。



③点眼の方法
子供の下まぶたをそっと引っ張り「あかんべえ」の状態にして、下まぶたの上に点眼してまぶたを閉じてください。点眼が怖くて、どうしても点眼前に目を閉じてしまうことがあります。その時は目の周りを清潔にしてからまぶたを閉じた状態で目頭あたりに点眼してください。点眼後に目を開けることで、目薬が自然に目の中に入っていきます。目薬の容器を直接目につけないでください。

④点眼後
目からこぼれた分を清潔なガーゼでふき取ってください。拭き取らずに皮膚についたままにしていると、かぶれてしまう可能性があります。

⑤最後に
点眼後はお子さんをたくさん褒めてあげましょう！



健康・栄養

第58回 ～暑い季節 体を暑さに慣れさせよう!!～

作業療法士
しみず けんた
清水 健太



暑さに慣れていないと熱中症になる危険性が高まります。体が暑さに慣れること(暑熱順化)について知り、熱中症の対策を行いましょう。手軽な運動も毎日続けることで汗をかける体に変化させます。暑さに慣れるために行いたいのが**1日30分、週5～7日の運動**です。

今回は、複数の部位を効率よく動かす筋力トレーニングを2種類紹介します。**23～25度ほどの快適な室温で、水分を摂りつつ実践**してください。じんわり汗をかけたらOKです。

<体幹のトレーニング> 左右10回ずつ2セット

- ① 椅子に浅く腰掛ける。骨盤を立てて座ること両手を頭の後ろに添えておく
- ② 息を吐きながら、肘と膝をタッチさせるように背中を丸めて体を捻じります息を吸いながら①に戻ります 反対側も同様です



普段なかなか使えていない腹筋のインナーマッスルを多角的に刺激！お腹周りが気になる人にもおすすめです。

<背中・お尻・太もも後ろのトレーニング> 左右交互15回ずつ2セット

- ① うつ伏せになり足を肩幅程度に、両腕は頭上に伸ばして広げます
- ② 息を吐きながら左の腕と右の脚を同時に引き上げ、吸いながら下ろします



腕は肩甲骨から、脚はお尻の力で持ち上げるイメージで行います(水入りのペットボトルを両手に持つと強度アップします)

聖書の小道

第65回 「鳥たちにも」

わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、

と主は言われる。

それは平和の計画であって、

災いの計画ではない。

将来と希望を与えるものである。

エレミヤ書
29章11節

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン **宮川 裕美子**



5月頃から医療団の建物の軒下にコシアカツバメが巣を作ります。いくつか壊れている巣もあり、それは劣化のせいだと思っていました。しかしある時、カラスが巣に足をかけ、嘴で突いているのを見かけました。はらはらと落ちて来た羽毛に、自然とは残酷なものだと思われました。カラスは嫌われる要素が多い鳥ですが、驚くことに聖書では神の保護の代行者として用いられています。ある聖書動物辞典では、「カラスが雛に対して冷酷であることから神はこれを特別な保護の下に置くよう取り計らわれた」と説明していました。一方、ツバメについても「鳥は渡って行くもの、つばめは飛び去るもの。理由のない呪いが襲うことはない。」(箴言26:2)と、不当な呪いが誰をも害することはないと伝える役割を担っています。

神様は鳥たちに神様の保護を伝える役割を与えられ、わたしたち人には、将来と希望を与える平和の計画を立ててくださっていることを思う時、勇気が湧いてきます。